

東日本大震災への主な対応状況について

1 被災地への物資支援等

(1) 本市からの支援

- ・毛布（11,500 枚）、トイレパック（80,000 個）、仮設トイレ（100 基）など
- ・被災地の県・市へ災害見舞金を贈呈（1,300 万円）

(2) 東日本大震災義援金

- ・3月18日から市民に募金を呼びかける（4月26日現在、約2億9,600万円）
- ・岩手県、宮城県、福島県、岩手県陸前高田市、福島県相馬市から要望のあった食品等を約1,300万円分購入し、4月14日から順次送付

2 被災地への人的支援

(1) 職員の派遣状況

消防・救急、救援物資整理、避難所運営、し尿収集、保健業務、上下水道支援など、4月27日現在で1,468名（延べ7,422人日）の職員派遣を実施

(2) 全国市長会の要請に基づく派遣

- ・《長期派遣》1年程度、事務職及び技術職を10名派遣
- ・《短期派遣》1週間交替で8週間、事務職及び技術職等を各回18名派遣

(3) 全国知事会の要請に基づく派遣

神奈川県合同派遣隊として、1週間交替で事務職を1～2名派遣

3 被災された方への支援

(1) 一次避難場所の開設

ア たきがしら会館への受入れ

4月26日現在、16名

イ 野島青少年研修センターへの受入れ

4月26日現在、11名

(2) 住まいの提供

ア 市営ひかりが丘住宅100戸

4月26日現在、63戸が鍵渡し済み

イ 市住宅供給公社の賃貸住宅37戸

4月26日現在、13戸入居済み

(3) 市立学校への就学

4月25日現在、266名を受入れ（小学校212名、中学校52名、高等学校2名）

4 放射線等の状況

- ・大気中の放射線量の市内の測定値は4月1日以降30～40ナノグレイ台で推移
- ・水道水の放射性物質の測定結果は3月25日以降不検出